



2013年 新年号

発行 宝塚第一病院
広報委員会宝塚市向月町 19-5
E-mail somu@takarazuka-daiichi-hp.or.jp

あけましておめでとうございます



この冬はノロウイルスによる感染性胃腸炎が全国的に流行しています。当院も急性期病院としてノロウイルス陽性患者さんを受け入れているため、院内感染対策を強化しています。さらに昨年の診療報酬改定で新設された感染防止対策 加算Ⅰを取得して、近隣の医療機関と連携して地域での感染防止対策にも取り組んでいます。

一方、昨年の11月から外来患者さんへのお薬を「院外処方」に変更致しました。「医薬分業」は厚生労働省の方針であり、薬剤師が病棟での業務に重点を移すことにより、より一層の医療安全体制を強化することを目指しています。患者さんにはいろいろとご負担をおかけすることになると思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



院長 那須範満



小児科をご紹介します



小児科の常勤スタッフは大室和代アレルギー科部長、阪田まり子小児科部長、森寛副医長の3名です。あと外来応援を阪大、兵庫医大などをお願いしています。

外来では一般外来の他特殊外来として予防接種（森）アレルギー外来（大室、森）小児神経（阪田）腎臓外来、乳児検診、育児相談（服部）を行なっています。地域に根ざした病院として平日は午前9時から午後5時まで、土曜日は午前9時から12時までの受付をしているため、流行している疾患によって患者数は変動します。また保育所で体調を崩して受診される方も夕方には集中します。こういう中で感染症の種類により待ち合いの場所、消毒方法などを使い分け、院内感染が起らないように注意しながら診療しています。

病棟は5階に4人部屋を3室、小児科部屋としています。プレイルーム、幼児用トイレがあり、また壁や詰所内の装飾で子供達が楽しく治療を受けられるように工夫して頂いています。疾患は呼吸器感染症、消化器感染症が大部分ですが、Ⅰ型糖尿病、ネフローゼ症候群など慢性疾患の子供が入院することもあります。また感染症や易感染性で個室管理が必要な場合は5階以外の病棟にもお世話になっています。入院して病気を治すのはもちろんですが、薬の飲ませ方、離乳食のすすめ方などちょっとした育児指導も行なって、退院後も親子とも順調に成長して幸せになってもらいたいと願っています。

